

通信教育実施計画

【基本情報】

教 科	情報科	科目	情報 I	【○】必修【】選択	単位数	2
担 当 者	杉本信隆		伊藤正行			
使用教科書	新編 情報 I 東京書籍					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	4	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容 目標等	コンピュータやデータの活用について理解を深め、技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深める。問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

a 講座			b 講座			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限	月日	曜	時限			
5/10	日	3	5/10	日	4	発展課題の実習	R1	R1~R3 合格で 7月以降 テスト1 受験可能
6/15	月	2	6/15	月	4	発展課題の実習	R2	
7/13	月	3	7/13	月	4	発展課題の実習	R3	
8/26	水	3	8/26	水	4	個別指導		
9/13	日	2	9/13	日	3	発展課題の実習	R4	R4~R6 合格で 12月以降 テスト2 受験可能
10/21	水	4	10/21	水	4	発展課題の実習	R5	
11/15	日	2	11/15	日	2	発展課題の実習	R6	
12/9	水	1	12/9	水	1	個別指導		
1/27	水	2	1/27	水	2	個別指導		

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	3,4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
8/30	日	5,6	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/27	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
10/4	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/2	月	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	3,4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/24	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/27	水	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/31	日	6	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められた。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程及び 考査結果により、各科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着し、 日常のさまざまな場面で活用することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考査結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができた。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、主体的に添削課題に前向きに取り組む、その努力が認められた。 ・面接指導に意欲的に出席することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程及び 考査結果により、各科目・単元の目標に沿った、知識・技能がある程度定着し、 日常の場面で活用することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考査結果により、知識・技能を応用して、思考・判断し、表現することができた。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の取り組みでは、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められた。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程及び 考査結果により、各科目・単元の目標に沿った、知識・技能の定着には課題がみられるが、努力は認められた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考査結果により、知識・技能を応用に課題が見られ、思考・判断し、表現するためには、さらなる努力を要した。

添削課題（レポート）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考査（テスト）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は再考査となります。

面接指導（スクーリング）

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。
